

朝来市景況調査書

令和3年度 第4四半期

(調査対象：令和4年1月～3月)

朝来市商工会

令和4年3月

【目次】

1. 景況調査について.....	2
2. 朝来市の景況推移（直近6回の調査）	4
3. 業種ごとの集計	4
①建設業（有効調査書数：23件）	5
②製造業（有効調査書数：39件）	7
③小売業（有効調査書数：40件）	10
④サービス業（有効調査書数：59件（内、飲食店：16件、宿泊業6件））	13
（参考文献）	19

I. 景況調査

1. 景況調査について

○本調査書作成の目的

朝来市内事業者が主要商圈とする朝来市地域、但馬地域、及び兵庫県内の経済動向を調査し、市内の業種別産業構造を把握することで、効果的な将来予測、及び経営計画の策定等に繋げることを目的とします。

○本調査書の作成方法

朝来市商工会の会員事業所に対して「調査票」の記入を依頼、回収したデータを基に、他の調査や情報を比較して調査書を作成します。

○『D.I.』について

D. I. とは、景気の各項目事項について、「良い」と感じている企業の割合から、「悪い」と感じている企業の割合を引いた値を示します。右の表の場合、
「良い」20% - 「悪い」30% = ▲10%
となり、D. I. 値は▲10ポイントと示すことができます。

業況	件数	構成比
良い	10件	20%
不変	25件	50%
悪い	15件	30%
合計	50件	100%

○参考とする調査書と有効回答数について

本調査書の作成にあたり、株式会社みなと銀行が四半期毎に実施する「兵庫県内中小企業の景況調査」、および但馬信用金庫が四半期毎に実施する「但馬管内の景気動向調査」の調査結果を参照しています。

(対象期間(R4. 1~3月)における有効回答数)

	建設業	製造業	小売業	サービス業
兵庫県内中小企業の景況調査 (株みなと銀行)	242	388	85	128
但馬管内の景気動向調査 (但馬信用金庫)	88	84	75	146
朝来市景況調査書 (朝来市商工会)	23	39	40	59

○業種の分類について

本調査書では、朝来市内事業所における卸売業は「小売業」とあわせて集計しています。

◆令和3年度調査からの変更点◆

<①実施時期について>

令和2年まで、朝来市内の景況調査は1年間に「上期(1月～3月)」、「下期(7月～9月)」の計2回実施しておりましたが、令和3年度より四半期ごとに実施いたします。

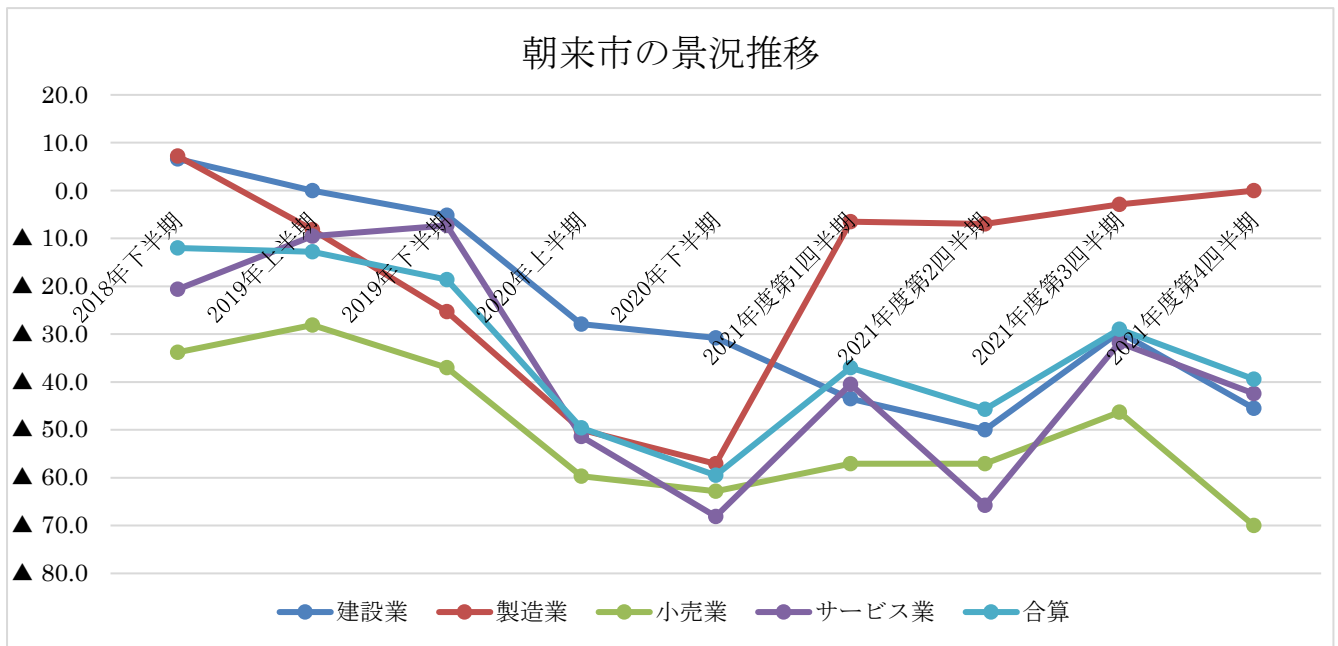
<②サービス業の区分>

今年度よりサービス業全体に加えて、「飲食店のみ」、「宿泊業のみ」のD.I.値も計算しております。詳しくは「サービス業」の調査結果ページにてご確認ください。

<③部門ごとのD.I.値>

製造業、卸売・小売業についてもサービス業と同様、複数回答を得られた業種から、細かく分類しD.I.値を掲載しています。

2. 朝来市の景況推移



	2020年 上半期 (R2.1~3月)	2020年 下半期 (R2.7~9月)	2021年度 第1四半期 (R3.4~6月)	2021年度 第2四半期 (R3.7~9月)	2021年度 第3四半期 (R3.10~12月)	2021年度 第4四半期 (R4.1~3月)
建設業	▲ 27.9 (48件)	▲ 30.8 (39件)	▲ 43.5 (23件)	▲ 50.0 (22件)	▲ 29.6 (27件)	▲ 45.5 (22件)
製造業	▲ 50.0 (53件)	▲ 57.1 (64件)	▲ 6.5 (46件)	▲ 7.0 (43件)	▲ 2.9 (35件)	0.0 (39件)
小売業	▲ 59.7 (78件)	▲ 62.8 (81件)	▲ 54.3 (46件)	▲ 57.1 (52件)	▲ 46.3 (41件)	▲ 70.0 (40件)
サービス業	▲ 51.4 (125件)	▲ 68.1 (120件)	▲ 42.3 (78件)	▲ 65.8 (74件)	▲ 31.8 (66件)	▲ 42.4 (59件)
合算	▲ 49.6 (304件)	▲ 59.5 (304件)	▲ 36.8 (196件)	▲ 45.7 (191件)	▲ 29.0 (169件)	▲ 39.4 (160件)

(※回答数 161 件、うち業況未回答 1 件)

直近 6 回の調査における「業況 (自業種の景気動向)」の集計結果の推移を示しています。表の上段の数値は D. I. 値、下段の数値はその時の集計件数を示しています。

1 月から再度感染症の拡大し兵庫県全域に「まん延防止等重点措置」が発令されたこと、昨年 10 月以降から続く原油、各原材料の値上がりなど、再び経営に大きな影響を与えています。

3. 業種ごとの集計

①建設業（有効調査書数：23件）

○昨年(1月～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？(内1件は未回答)

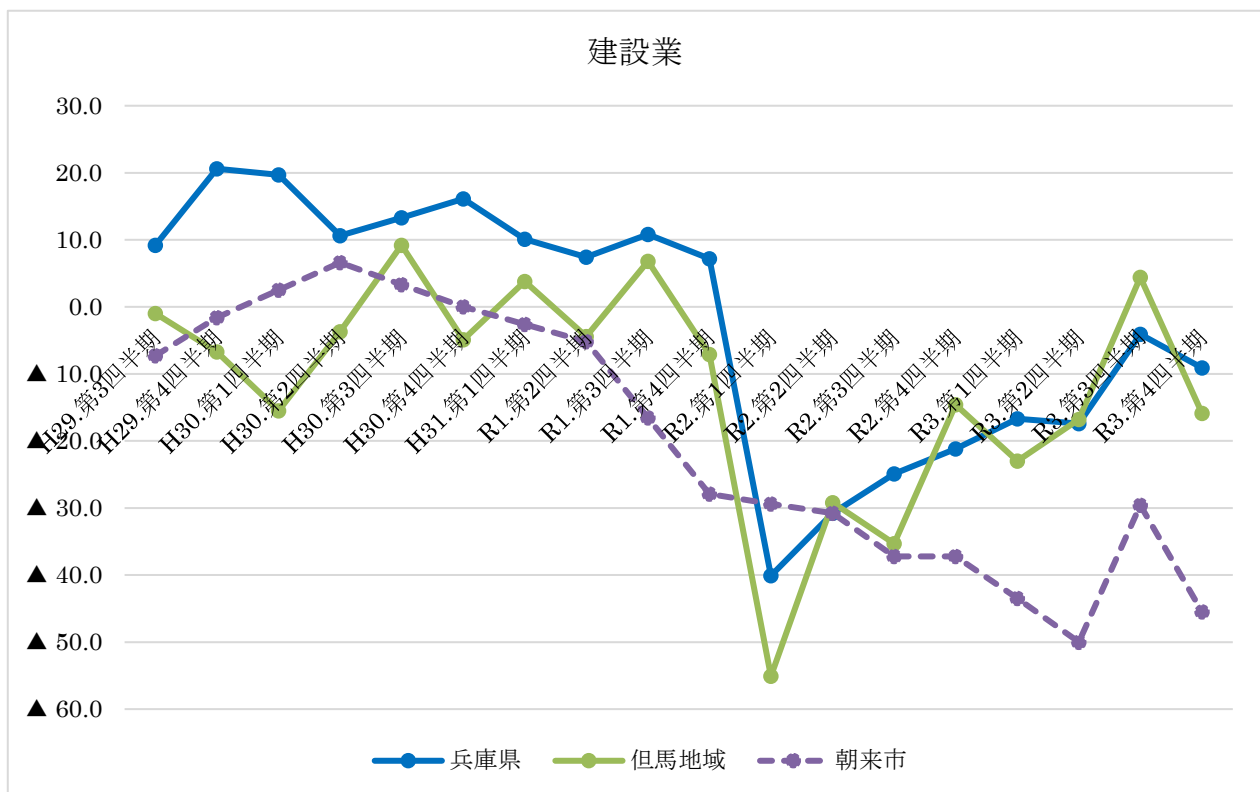
	件数	構成比
好転	2件	9.1%
不変	8件	36.4%
悪化	12件	54.5%

「不変」「悪化」と回答した事業者が多く、「好転」の回答は少数となっています。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲9.1ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲15.9ポイント
朝来市	▲45.5ポイント

全地域でマイナスのD. I. 値となっており、特に朝来市内の数値が他地域と比較して下がっています。

○建設業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

県全域、但馬地域、朝来市の全地域にて、第3四半期と比較すると減少傾向となりました。朝来市は最も低い令和3年度の第2四半期(7月～9月)に近い数値です。

○経営上の問題点（建設業－朝来市）

	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期	2021 年度第 4 四半期
1 位	従業員の確保難	従業員の確保難	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難	熟練技術者の確保難
3 位	材料等仕入単価の上昇	人件費の増加	従業員の確保難	人件費以外の経費の増加

問題点として「材料等仕入単価の上昇」が「熟練技術者の確保難」が継続しつつ、「人件費以外の経費の増加」が3番目に入っており、材料費以外の値上がりの影響を受けていると考えられます。

○経営状況や今後の方針について（建設業－朝来市）

創業5年未満	0件
売上・事業拡大	11件
現状維持	11件
事業承継への取り組み	4件
廃業を検討	0件

※複数回答あり

・廃業を検討（0件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	0件
事業譲渡なども、全く考えていない	0件

②製造業（有効調査書数：39件）

○昨年(1月～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

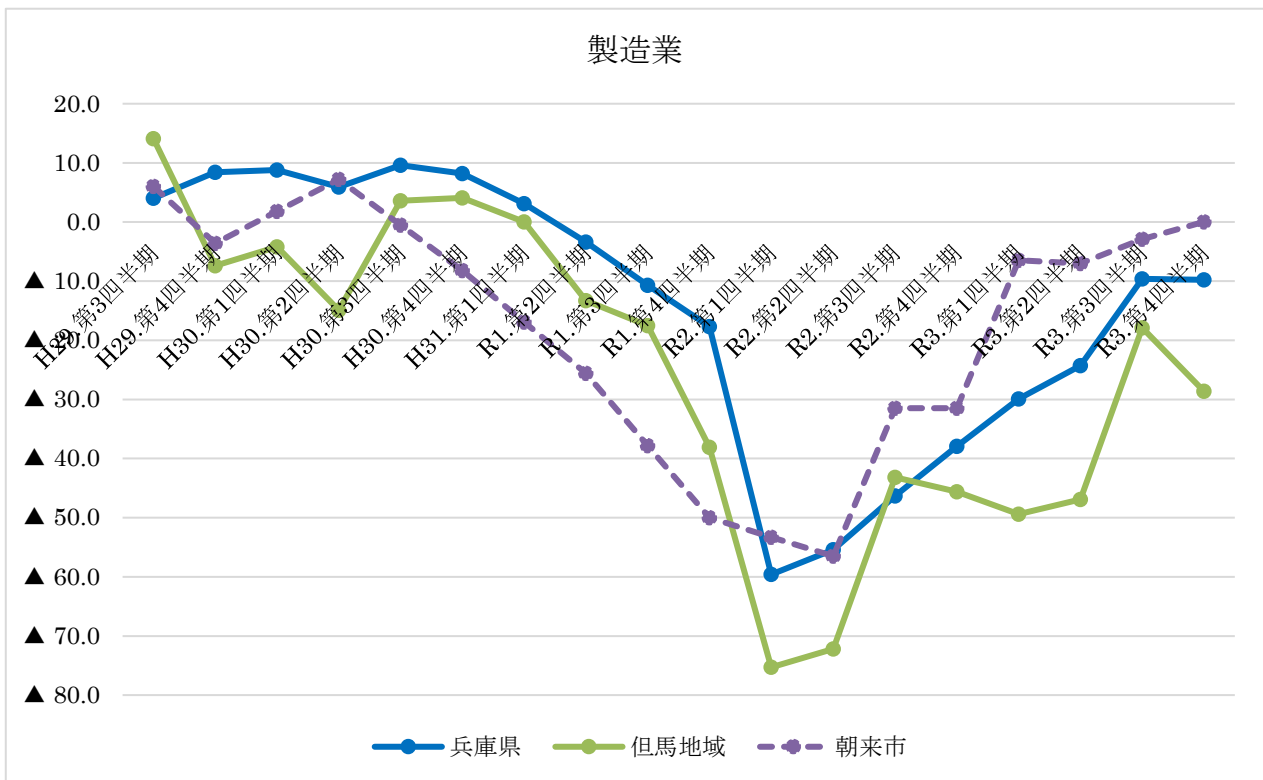
	件数	構成比
好転	9件	23.1%
不変	21件	53.8%
悪化	9件	23.1%

「好転」「悪化」と答えた事業所が同数となり、D.I. 値はわずかながら上向きとなりました。

地域	D.I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲9.8ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲28.6ポイント
朝来市	0.0ポイント

兵庫県全域、朝来市地域は前回と似たD.I. 値となりました。

○製造業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

各地域について兵庫県・朝来市地域は前回調査並み、但馬地域は減少の結果となりました。また兵庫県全域と朝来市地域については、令和3年度調査では年間を通じて上昇の傾向となっています。

○経営上の問題点（製造業－朝来市）

	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期	2021 年度第 4 四半期
1 位	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇	材料等仕入単価の上昇
2 位	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難	従業員の確保難
3 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	人件費以外の経費の増加

今年度の 4 半期ごとの調査では「材料等仕入単価の上昇」「従業員の確保難」が常に上位となっていました。第 4 四半期では「人件費以外の経費の増加」も上位に入り、各経費、費用の上昇が経営に影響を与えています。

○経営状況や今後の方針について（製造業－朝来市）

創業 5 年未満	0 件
売上・事業拡大	23 件
現状維持	14 件
事業承継への取り組み	10 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2 件
事業譲渡なども、全く考えていない	3 件

○製造業種ごとの D. I. 値について

※複数回答を頂けた業種を 3 件掲載します。

・ 金属製品に関する製造業（金属製品、金属加工、部品製造など）

	件数	構成比
好転	4 件	30.8%
不変	8 件	61.5%
悪化	1 件	7.7%
D. I. 値	—	23.1 ポイント

・ 食品関連の製造業（食料品、飲料、調味料など）

	件数	構成比
好転	1 件	10.0%
不変	4 件	40.0%
悪化	5 件	50.0%
D. I. 値	—	▲40.0 ポイント

・ 繊維製品製造業（縫製、紙器、印刷業など）

	件数	構成比
好転	2 件	40.0%
不変	3 件	60.0%
悪化	0 件	—
D. I. 値	—	40.0 ポイント

製造業の中でも、複数回答を頂けた業種の D. I. 値を算出いたしました。前回調査と比較し、金属製品に関する製造は若干上昇し食品関連の製造業はより低い値となりました。兵庫県のまん延防止等重点措置の影響を受けていると考えられます。

また少数の回答ですが、他製造業は以下の通りとなっています。

・ 畳等生活雑貨製品製造業…「不変」1 件、「悪化」2 件

③小売業（有効調査書数：40件）

○昨年（1月～3月）と比較して、今期の業況はいかがですか？

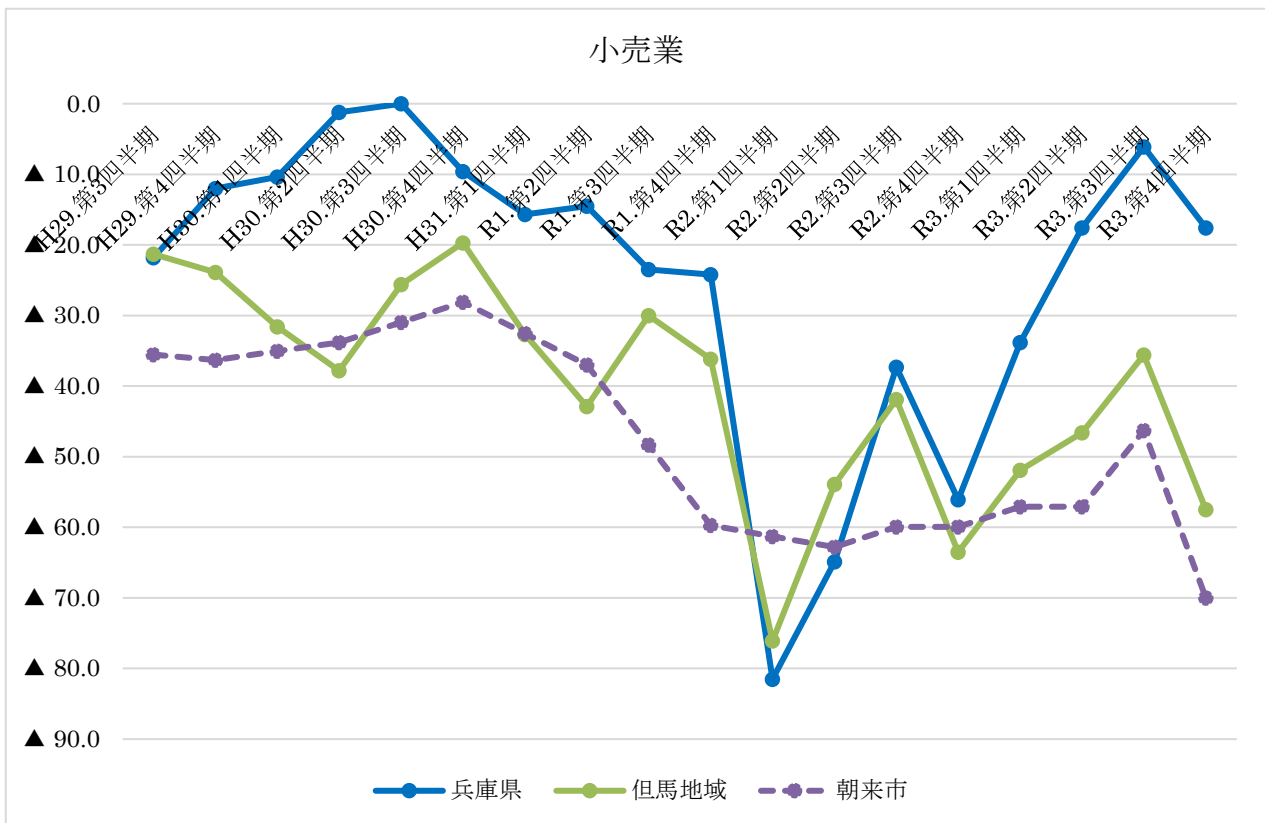
	件数	構成比
好転	1件	2.5%
不変	10件	25.0%
悪化	29件	72.5%

悪化と回答した事業所が多く、調査対象の業種で最も低い数値となりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲17.6ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲57.5ポイント
朝来市	▲70.0ポイント

全ての地域において、前回調査より D. I. 値が減少しています。

○小売業における地域ごとの景況推移



※朝来市は R2 年 4 期（9～12 月）、R3 年 1 期（1～3 月）の調査未実施のため、中間点を計上

第 3 四半期の回答では D. I. 値の改善傾向が見えましたが、1 月以降は全ての地域で悪化となり、朝来市の数値は今年度で最も低くなっています。

○経営上の問題点（小売業－朝来市）

	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期	2021 年度第 4 四半期
1 位	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	利用者ニーズの 変化への対応	需要の停滞
2 位	需要の停滞	需要の停滞	需要の停滞	利用者ニーズの 変化への対応
3 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	材料仕入単価の上昇

「需要の停滞」「利用者ニーズの変化への対応」に加え、新たに「材料仕入単価の上昇」が上位に入りました。10 月から続く原油価格の高騰、各材料、原料の値上げなどの影響が徐々に出てきています。

○経営状況や今後の方針について（小売業－朝来市）

創業 5 年未満	2 件
売上・事業拡大	12 件
現状維持	20 件
事業承継への取り組み	7 件
廃業を検討	8 件

※複数回答あり

・廃業を検討（8 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2 件
事業譲渡なども、全く考えていない	6 件

○小売・卸売業種ごとのD.I.値について

※複数回答を頂いた業種を2件掲載します。

・織物・衣服・身の回りの品、などの小売業

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	4件	30.8%
悪化	9件	69.2%
D.I.値	—	▲69.2ポイント

・飲食料品に係る小売・卸売業

	件数	構成比
好転	0件	—
不変	0件	—
悪化	7件	100.0%
D.I.値	—	▲100.0ポイント

「織物・衣服・身の回りの品、などの小売業」は前回調査より若干改善しましたが、飲食料品に係る小売・卸売業はまん延防止等重点措置の影響により厳しい状況となり「悪化」と回答した事業所のみです。

また少数の回答ですが、他小売業は以下の通りとなっています。

・写真機・時計・眼鏡小売業…「悪化」2件

④サービス業（有効調査書数：59件）

○昨年(1～3月)と比較して、今期の業況はいかがですか？

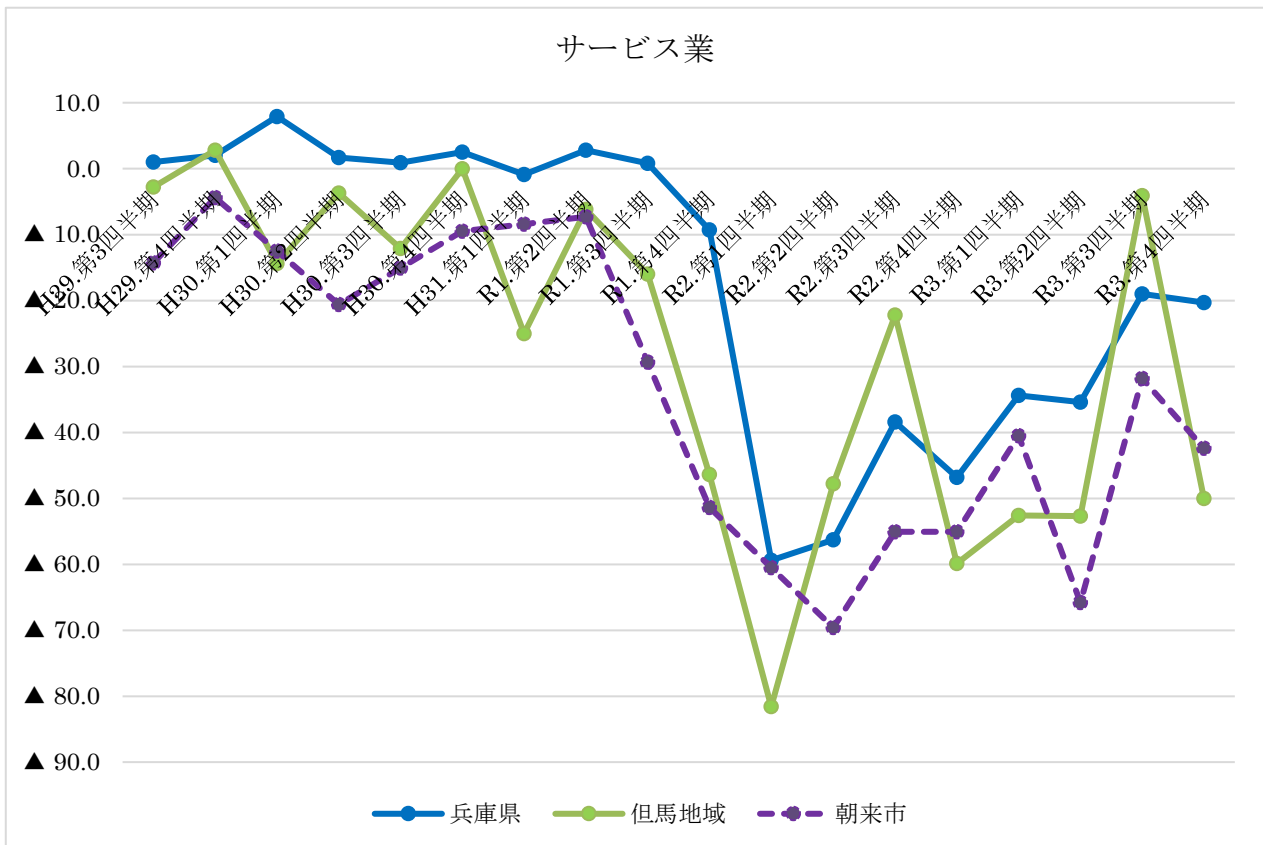
	件数	構成比
好転	4件	6.8%
不変	26件	44.1%
悪化	29件	49.2%

前回調査（12月）は回復したとの回答が増えましたが、1月以降は不変、悪化の回答が再び多くなりました。

地域	D. I.
兵庫県 (みなと銀行)	▲20.3ポイント
但馬地域 (但馬信用金庫)	▲50.0ポイント
朝来市	▲42.4ポイント

D. I. 値の低下は朝来市だけでなく、但馬地域全域や兵庫県全域でも同様の傾向となっています。

○サービス業における地域ごとの景況推移



※朝来市はR2年4期(9～12月)、R3年1期(1～3月)の調査未実施のため、中間点を計上

小売・卸売業同様に第3四半期調査では全ての地域で改善していましたが、感染者の再増加、各種材料の値上がりなど様々な要因により、厳しい傾向となっています。

○経営上の問題点（サービス業－朝来市）

	2021 年度第 1 四半期	2021 年度第 2 四半期	2021 年度第 3 四半期	2021 年度第 4 四半期
1 位	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	店舗施設の老朽化	材料仕入単価上昇の上昇
2 位	需要の停滞	需要の停滞	材料仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応
3 位	材料仕入単価の上昇	材料仕入単価の上昇	利用者ニーズの変化への対応	人件費以外の経費の増加

「材料仕入単価の上昇」が 1 位となり、原油価格や材料費の高騰が前回調査以上に影響していると考えられます。「人件費以外の経費の増加」も上位となっています。

○経営状況や今後の方針について（サービス業－朝来市）

創業 5 年未満	7 件
売上・事業拡大	21 件
現状維持	32 件
事業承継への取り組み	9 件
廃業を検討	5 件

※複数回答あり

・廃業を検討（5 件）の内、

可能であれば、事業譲渡や引き渡しを検討したい	2 件
事業譲渡なども、全く考えていない	2 件

※内 1 件は未回答

○サービス業種ごとの D. I. 値について

※飲食店、宿泊業、また複数回答を頂けた業種を 2 件掲載します。

・飲食店

	件数	構成比
好転	0 件	—
不変	1 件	6.3%
悪化	15 件	93.7%
D. I. 値	—	▲93.7 ポイント

・宿泊業

	件数	構成比
好転	0 件	—
不変	2 件	33.3%
悪化	4 件	66.7%
D. I. 値	—	▲66.7 ポイント

・洗濯・理容・美容・浴場業

	件数	構成比
好転	0 件	—
不変	3 件	37.5%
悪化	5 件	62.5%
D. I. 値	—	▲62.5 ポイント

・自動車整備サービス、運送業など

	件数	構成比
好転	3 件	33.3%
不変	3 件	33.3%
悪化	3 件	33.3%
D. I. 値	—	0.0 ポイント

飲食店・宿泊業はまん延防止等重点措置の発令により前回調査より D. I. 値のマイナス幅が広がりました。昨年と同時期（令和 3 年 1 月～3 月）も緊急事態宣言が発令されていたものの、飲食店のみでなく多くのサービス業で悪化となっています。

(参考) 全データの集計

○経営者、事業主の年齢を教えてください

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
20代	0	0	0	0	0
30代	0	1	3	2	6
40代	5	7	6	10	28
50代	9	5	6	16	36
60代	7	20	10	14	51
70代以上	2	6	15	17	40

○朝来市商工会に望むことについて

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
経営全般への相談	6	9	9	19	43
補助金・助成金の相談	11	20	22	33	86
各種認定について	6	6	3	3	18
IT化について	6	6	6	8	26
税務・労務について	6	6	3	11	26
特に相談等は無し	5	11	10	10	36

○経営状況や今後の方針について教えてください

(複数回答可能)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
創業5年未満	0	0	2	7	9
売上・事業拡大	11	23	12	21	67
現状維持	11	14	20	32	77
事業承継への取り組み	4	10	7	9	30
廃業検討	0	5	8	5	18

※廃業を検討される方

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
事業譲渡や引き渡しを検討	0	2	2	2	6
事業譲渡なども、全く考えていない	0	3	6	2	11

○雇用者数について教えてください

【正社員(正規雇用)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	2	6	14	22	44
1人～5人	11	9	18	20	58
6人～10人	2	5	2	4	13
11人～20人	2	3	3	4	12
21人以上	5	14	0	3	22
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	10	16	7	16	49
適正人数である	9	16	12	18	55
雇い入れが過剰である	0	0	1	0	1
雇用していない・しない	2	6	16	17	41
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	1	0	1

【パートタイマー(アルバイト)】	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
0人	8	12	15	19	54
1人～5人	10	16	16	29	71
6人～10人	0	2	2	5	9
11人～20人	1	4	3	1	9
21人以上	0	3	0	1	4
	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
雇い入れを増やしたい	3	9	3	11	26
適正人数である	9	17	16	26	68
雇い入れが過剰である	0	1	1	0	2
雇用していない・しない	7	10	15	17	49
新型コロナウイルス感染症の影響で 解雇・雇い止めを実施	0	0	1	0	1

○令和4年1～3月と前年同期(令和3年1～3月)を比較した状況について教えてください

		建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
業況	好転	2	9	1	4	16
	同じ	8	21	10	26	65
	悪化	12	9	29	29	79
売上	増加	2	1	1	0	4
	同じ	9	3	1	6	19
	減少	11	2	0	3	16
販売価格	増加	4	2	0	0	6
	同じ	8	1	2	1	12
	減少	9	3	0	1	13
仕入価格	増加	9	1	0	0	10
	同じ	1	3	0	0	4
	減少	12	2	0	0	14
資金繰り	好転	2	0	0	0	2
	同じ	15	1	0	0	16
	悪化	5	0	0	0	5

○今期の経営上の問題点を教えてください(上位3つまで)

	建設業	製造業	小売業	サービス業	合計
大企業の進出による競争の激化	0	2	6	1	9
新規参入業者の増加	1	0	3	10	14
利用者ニーズの変化への対応	1	6	17	19	43
店舗施設の老朽化	0	9	12	18	39
人件費の増加	7	9	1	12	29
人件費以外の経費の増加	8	12	10	18	48
利用料金の低下・上昇難	0	1	1	9	11
材料等仕入単価の上昇	19	32	16	27	94
金利負担の増加	0	2	0	1	3
事業資金の借入難	1	1	2	5	9
従業員の確保難	8	15	5	13	41
熟練技術者の確保難	9	2	0	3	14
需要の停滞	3	10	18	18	49
その他	1	2	4	2	9

(参考文献)

兵庫県内中小企業の景況調査／株式会社みなと銀行
但馬管内の景気動向調査／但馬信用金庫

「朝来市景況調査書」についてのお問い合わせ先

朝来市商工会

〒669-5201 朝来市和田山町和田山 404

電話：079-672-2362 FAX：079-672-4844

URL：<http://www.asago.org/> メール：shokokai@asago.org